

参加費無料

第7回群馬学センター萩原文庫シンポジウム

# 近代化遺産

# 総合調査の30年

令和元年 **9/8** 日

10:00～16:00

会場 | 群馬県立女子大学 2号館 第1講義室

群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1 (JR高崎線新町駅よりバス15分)

講演

- |                  |           |       |
|------------------|-----------|-------|
| ■ 織都桐生の近代化遺産30年  | 群馬県桐生市    | 萩原 清史 |
| ■ 三池炭鉱の近代化遺産30年  | 福岡県大牟田市   | 坂井 義哉 |
| ■ 下関市の近代化遺産30年   | 山口県下関市    | 高月 鈴世 |
| ■ 大阪・奈良の近代化遺産30年 | 大阪府柏原市    | 石田 成年 |
| ■ 横須賀基地の近代化遺産30年 | 米国海軍横須賀基地 | 荒木 良子 |

パネルディスカッション

## 日本の近代化遺産30年

伊東孝(日本イコモス)、鈴木淳(東京大学)、北河大次郎(文化庁)  
コーディネーター 松浦利隆(群馬県立女子大学)

【お申し込み・お問い合わせ】

## 群馬県立女子大学事務局

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1 電話:0270-65-8511 FAX:0270-65-9538  
電子メール:gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp ホームページ:https://www.gpwu.ac.jp/  
ぐんま県民カレッジ連携講座

主催/群馬県立女子大学

後援/日本イコモス、東京文化財研究所、全国近代化遺産活用連絡協議会、産業考古学会、TICCIH Japan、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、桐生市、長野原町、群馬歴史散歩の会、群馬県地域文化研究協議会(一部予定を含む)



# 近代化遺産 総合調査の30年

## 【講演】

講師

はぎわら きよし  
**萩原 清史**

1962年生。群馬県桐生市出身。明治大学文学部史学地理学科(考古学専攻)卒業。桐生市教育委員会文化財保護課長、みどり市文化財審議委員。1990年から桐生市教育委員会文化財保護課にて群馬県近代化遺産総合調査を担当。その後、伝統的建造物群保存対策調査、重要文化財産部家住宅発掘調査、重要文化財旧群馬県衛生所保存修理工事等を担当。2016年から現職。

さかい よしや  
**坂井 義哉**

1963年生。福岡県大牟田市出身。熊本大学文学部史学科卒業。大牟田市石炭産業科学館長。大牟田市教育委員会に文化財専門職として入庁、三池炭鉱閉山後の保存活用に従事し「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録、三池エリアのガイダンス施設整備担当、2018年から現職。

たかつき すずよ  
**高月 鈴世**

山口県下関市出身。奈良大学文学部文化財学科卒業、大阪工業大学工学部II部建築学科卒業。下関市教育委員会文化財保護課主任。1998年から下関市内の歴史的建造物等の調査、文化財指定及び登録、重要文化財旧下関英国領事館保存修理(2008-2014)をはじめとする保存修理を担当。分担執筆に『日本近代建築大全 西日本編』講談社(2010)

いしだ なりとし  
**石田 成年**

1962年生。大阪市出身。関西大学文学部史学地理学科卒業、同大学院文学研究科博士課程満期退学。大阪府柏原市教育委員会文化財課参事。大阪府、和歌山県、奈良県の近代化遺産総合調査に調査員、委員として参加。2011年より土木学会選奨土木遺産関西支部推薦委員会委員。主要著書に『文化財基礎調査概報 近代化遺産』柏原市教育委員会(2000)、『奈良県の近代化遺産』奈良県教育委員会(2014)

あらかし りょうこ  
**荒木 良子**

福島県福島市出身。米国海軍横須賀基地環境課 歴史文化資源管理担当。1982年より米国海軍横須賀基地に勤務、秘書勤務を経て、2001年より歴史文化資源管理業務を担当。2003年木骨煉瓦造官舎の解体調査の調整、2003-2004年と2014年に横須賀市教育委員会と共同で基地内近代化遺産等分布調査を実施。2016年より横須賀市近代歴史遺産活用事業推進協議会委員

## 【パネルディスカッション】

パネリスト

いとう たかし  
**伊東 孝**

1945年生。川崎市出身。東京都立大学卒業、東京大学大学院、博士課程退学、工学博士。日本大学理工学部教授、特任教授を経て、同大学非常勤講師、上席研究員。内閣府「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」委員、史跡佐渡金銀山遺跡保存管理委員会委員、錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員、日本ICOMOS「技術遺産」小委員会主査、「勝閑橋をあげる会」代表。主要著書に『東京の橋－水辺の都市景観』(鹿島出版)『東京再発見－土木遺産は語る』『日本の近代化遺産』(岩波新書)等

すずき じゅん  
**鈴木 淳**

1962年生。東京都出身。東京大学文学部国史学科卒業、同大学院人文科学研究科博士課程修了。博士(文学)。東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授。主要著書に『明治の機械工業』ミネルヴァ書房(1996)、『史跡で読む日本の歴史10 近代の史跡』吉川弘文館(2010)、『シリーズ日本の近代 - 新技術の社会誌』中公文庫(2013)

きたがわ だいじろう  
**北河 大次郎**

1969年生。静岡県静岡市出身。東京大学工学部卒業、エコール・ナショナル・デ・ポンゼンヨッセ(フランス)修了。博士(国土整備・都市計画)。文化庁文化財調査官。文化庁建造物課で近代化遺産の調査・指定・修理等を担当。主要著書は『近代都市パリの誕生』(河出書房新社)、『図説日本の近代化遺産』(河出書房新社、共著)、『建築と都市の保存再生学』(鹿島出版社、共著)

コーディネーター・司会

まつうら としたか  
**松浦 利隆**

1957年生。群馬県高崎市出身。筑波大学卒業、同大学院修了、博士(文学)。群馬県立女子大学群馬学センター教授。群馬県立高等学校教諭、群馬県教育委員会、群馬県立歴史博物館、群馬県企画部世界遺産推進課等の勤務を経て、2015年から現職。1990-1991県教委文化財保護課において群馬県近代化遺産総合調査を担当。

萩原進氏は、戦後の群馬県の近代史研究の先鞭を付けたことで知られるが、氏が県文化財保護審議会長を勤めた1990(平成2)年、群馬県は全国に先駆けて近代化遺産総合調査を実施、近代の文化財の調査と保護にも新しい道筋が付けられることとなった。

この調査は、文化庁の主導による近代の文化財に関する初の全国的総合調査であり、近代文化財の保護と活用の実質的なスタートであった。調査は平成の30年余を費やして全国で実施され、東京都の調査の終了をもって遂に完結した。

そこでこの節目にあたり、各地において調査や活用に直接関わった現場の担当者にその概要と成果について語ってもらおうと共に、全国的、歴史的な視点からその成果や意義についても考えるシンポジウムを開催する。

### お申し込み方法

はがき、電話、ファックス、またはEメールにて、郵便番号、住所、氏名、電話番号を大学事務局あて、令和元年9月5日(木)までにお知らせください。ファックスを使用される場合は、下記の参加申込書をお使いください。(土・日・祝日はお電話をお受けできませんので、ご了承ください。)

### お申し込み先

〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1  
**群馬県立女子大学事務局教務係**  
TEL.0270-65-8511  
FAX.0270-65-9538  
E-mail : gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp



## FAX送信票 第7回 群馬学センター萩原文庫シンポジウム 「近代化遺産総合調査の30年」 参加申込書

〒	ご住所	
お名前		電話番号

〒	ご住所	
お名前		電話番号